

ねまーる新聞の枠を飾るのは
社協職員による
手作りの手芸作品です。

池田町絵本サークル



池田町婦人福祉会



町内でボランティアや仲間づくり等の活動をされている団体さんが
福井県知事から表彰されました。長年続けている活動内容などをご紹介します。

仲間と地域 ワクワク イキイキ

池田町老人クラブ



ねまーる 新聞

2025
Winter
Vol. 28



おしゃべりに花を
咲かせながら
コツコツ
作っていきます



池田の米袋を
リサイクル☆

婦人福祉会は長年、施設
慰問やお弁当配達、募金活
動など福祉に関わる活動に
取り組んでいます。今回は、
積極的に募金活動に取り組
んでいることが称えられ受
賞しました。赤い羽根共同
募金の街頭募金活動や、寄
付つき商品『池田米（マイ
バッグ）』を手作りするなど、
メンバーが力を合わせ取り
組んできました。

活動しながら仲間との
親睦も深め、地域も自分た
ちも、お互いに笑顔になれ
る取り組みをされています

平成11年に、図書館で
行った勉強会から活動がス
タート。以来、絵本の読み
聞かせや、ボランティアの
育成を行ってきました。現
在は図書館での読書会の運
営サポートも行つたなど、本
に親しむことで心の豊かさ
を育む活動をしています。



みんな真剣に
聞き入って
いるね！
いけば
パテン

スティックリンクで
仲間と切磋琢磨☆



笑顔が
さわやか！
いけば
スマイル

老人クラブ育成指導功勞
者知事表彰を受けた内藤博
男さん。長年役員として育
成指導に貢献し、また、現
在もなお活動をしているこ
とを称えられ、今回の受賞
にいたしました。

内藤さんは、老人クラブ
でスポーツ推進活動に尽力
されています。中でもス
ティックリンクを通じ、高
齢者の方の、仲間づくり健
康づくりに取り組んでこら
れました。内藤さんの周り
にはいつも笑顔があふれ、
見ているこちらも元気をも
たえます。



これからもヘリパーとして
地域に笑顔を届けます！

長年の福祉への尽力を称
え、福井県社会福祉協議会
長表彰をいただきました！

お客様に満足して福祉サービスをご利用いただくために 苦情窓口を設置しています

苦情受付担当者：廣田 和美
苦情解決責任者：石丸 幸枝（居宅介護支援）
三谷 紀子（訪問介護）・山内 祐子（通所介護）
（中立・公正な立場から助言を行う）
第三者委員会：小森 保之・加茂 裕子
事業所に直接話しにくかったり。
事業所との話し合いで解決できなかった
場合などお気軽にご相談ください。
秘密は必ず守ります。
（匿名でもかまいません）
相談時間：月～金曜日 午前9時～午後5時（祝日・年末年始は除きます）
電話：0776-24-2347 F A X：0776-24-8942
E-mail：siawase@f-shakyo.or.jp
福井県運営適正化委員会
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉センター1階

福祉サービスを
利用して…
いやな思いや、
ケガをした
サービス内容に
不満がある
職員の対応が
悪い

池田町身体障害者協会の方が
作った作品が展示されました。
池田町を飛び出し、県内の方に広く見て
いただくことができました。



ねまーる新聞でおなじみの
似顔絵イラストも展示されました☆

ショッピングセンターベルで
展示されました！



裏面もご覧ください♪

教えて! 師匠!



環境フレンズ
理事長 長尾さん

～ いけだの未来のこし隊 ～

いけだのかっすなもん

今回のお宝: 食守り、命育む『食Uターン』

地域に伝わる暮らしの知恵や技、心...
池田町の宝を次世代に受け継ぐプロジェクト!

特派員のわたしたちが
体当たり調査しました!



ゆーみん まりりん



『土魂壤』は、町内の生ごみを牛糞やもみ殻等と混ぜて、たい肥化したものです。生ゴミをたい肥として活用する取り組みが『食Uターン事業』。捨てられる物を再利用し、ゴミを減らすだけでなく、土を良くし、安全で美味しいお米や野菜を生産・販売しています。町が目指す『地域資源循環型農村』の取り組みの一つです。

池田豆知識

どうやって作っているの? ということで取材してきました☆



と読みます!

どうも☆この原稿を書いているのは12月頭。いけだチャンネルで、アスパラの冬越しについて放送しているのを真剣に見ているゆーみんです☆
畑するならコレが必要不可欠と言っても過言ではないだろう『土魂壤』!



息の合った動き!
次々生ゴミを回収車へ



この中に
生ゴミが!

生ゴミを新聞紙に包み、指定の紙袋に入れて、月・水・金にゴミステーションに出すと、回収車が来てくれます。2人一組で作業にあたります。

町内のゴミステーション 38か所を回ります



向かったのは農業公社。今から生ゴミ回収に行くということでお供しました。

食Uターンギャラリー ※どこの集落かわかりますか?



この活動
ならではの
魅力だね♡



ボランティアの方に、活動の魅力についてお話を伺いました☆
① くだん話す機会のない人と出会い、自分の知らなかった地域のことを教えてもらうことができて楽しい!
② 全集落を回れる!
この二つを活動の楽しみとして教えてくれました♡



トラクターで生ゴミをつぶします

ここからは、施設の管理を任されている福井環境保全さんのお仕事です。

おつかれ
さまでした♡



最終地点の金山にある『あぐりパワーアップセンター』へ到着! 生ゴミの量を計測、生ゴミを指定箇所に下ろし、回収車を洗って公社へ戻りボランティア終了です☆



たくさん集めたぞ~!!



新聞紙のかたまりやビニールなど。自然に分解されないものは取り除きます。

新聞紙の入れすぎに注意だね



蒸気がすごい...!



ぼくらの糞も
いい仕事
してるんです!



袋詰めされて、
いってらっしゃ~い



お宝(土魂壤)の山や~

生ゴミは水分が多く、燃やすのに沢山のエネルギーを必要とします。食Uターンに出すことで、環境活動に参加できるといことが衝撃的でした。生ゴミを出す人、回収作業をする人、双方の取り組みがあって土魂壤が作られます。この活動が始まった時のメンバーでもある師匠は、食Uターンを行う意義について「食U命を守るため」とおっしゃっていました。土魂壤という名に現れるように、環境(土)を守る心(魂)が、この活動を通じ、次の世代に受け継がれていくのだ、と感動しました。

特派員のわたしたちが、ねま~る新聞を編集しています!



Q&A: 心に残る寒いエピソード



ケイティー
冬場の体育館の鉄棒。器械運動は苦手です。



まりりん
私のお兄ちゃんのだらしないギャグ。そしてこりないお兄ちゃん。



ゆーみん
雪原のアイス作り体験で手が塩だらけに。雪に塩はヤバイ。



のりぴー
お寺の掃除。心は温まりました。



じゅんじゅん
冬の子供の剣道教室の当番。体育館は白い息でした。



みぼりん
【寒い】ふりがなを【さぶい】と書きました。

特派員がかわいい雪だるまに変身☆



住民さんが似顔絵を描いて下さいました!